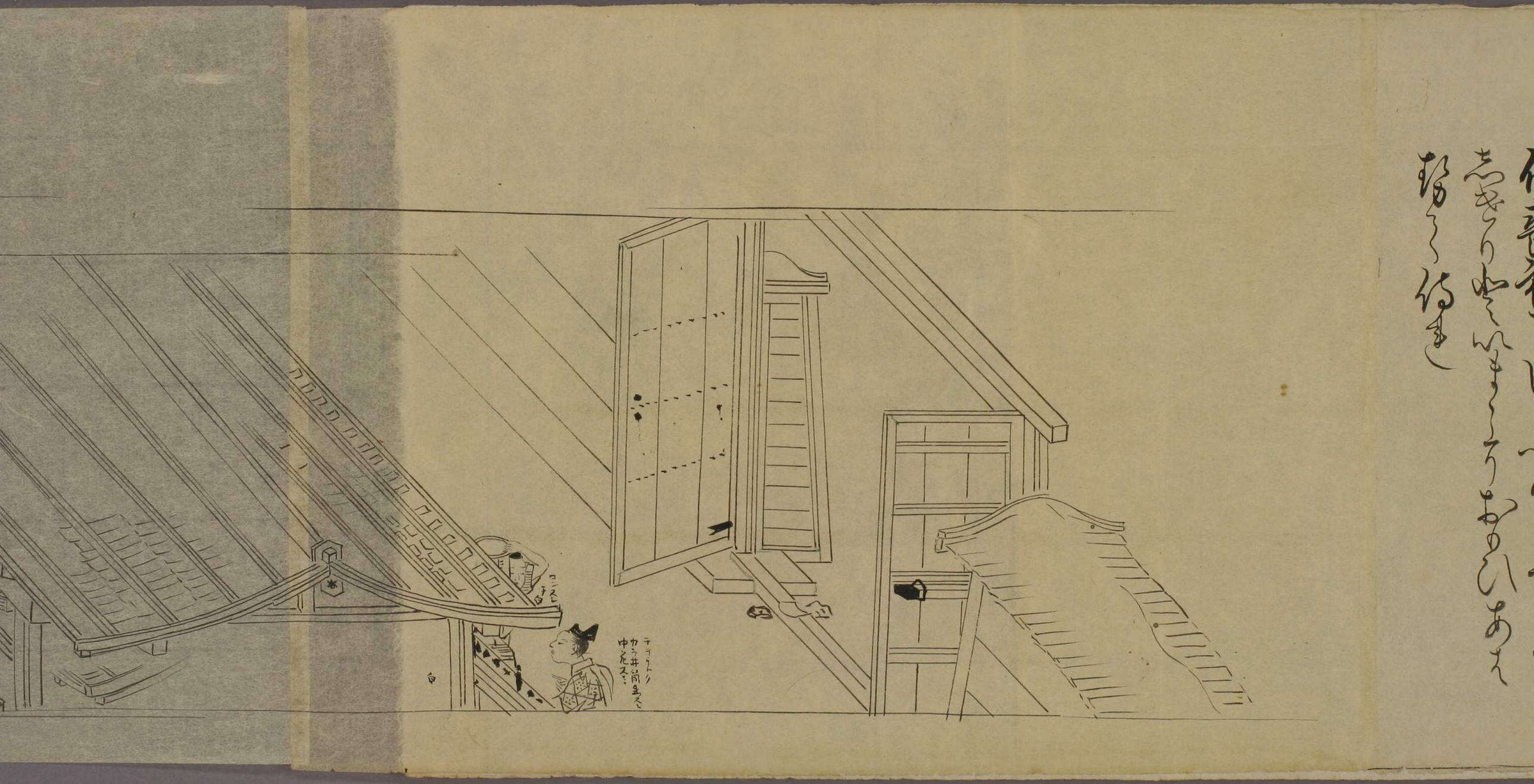
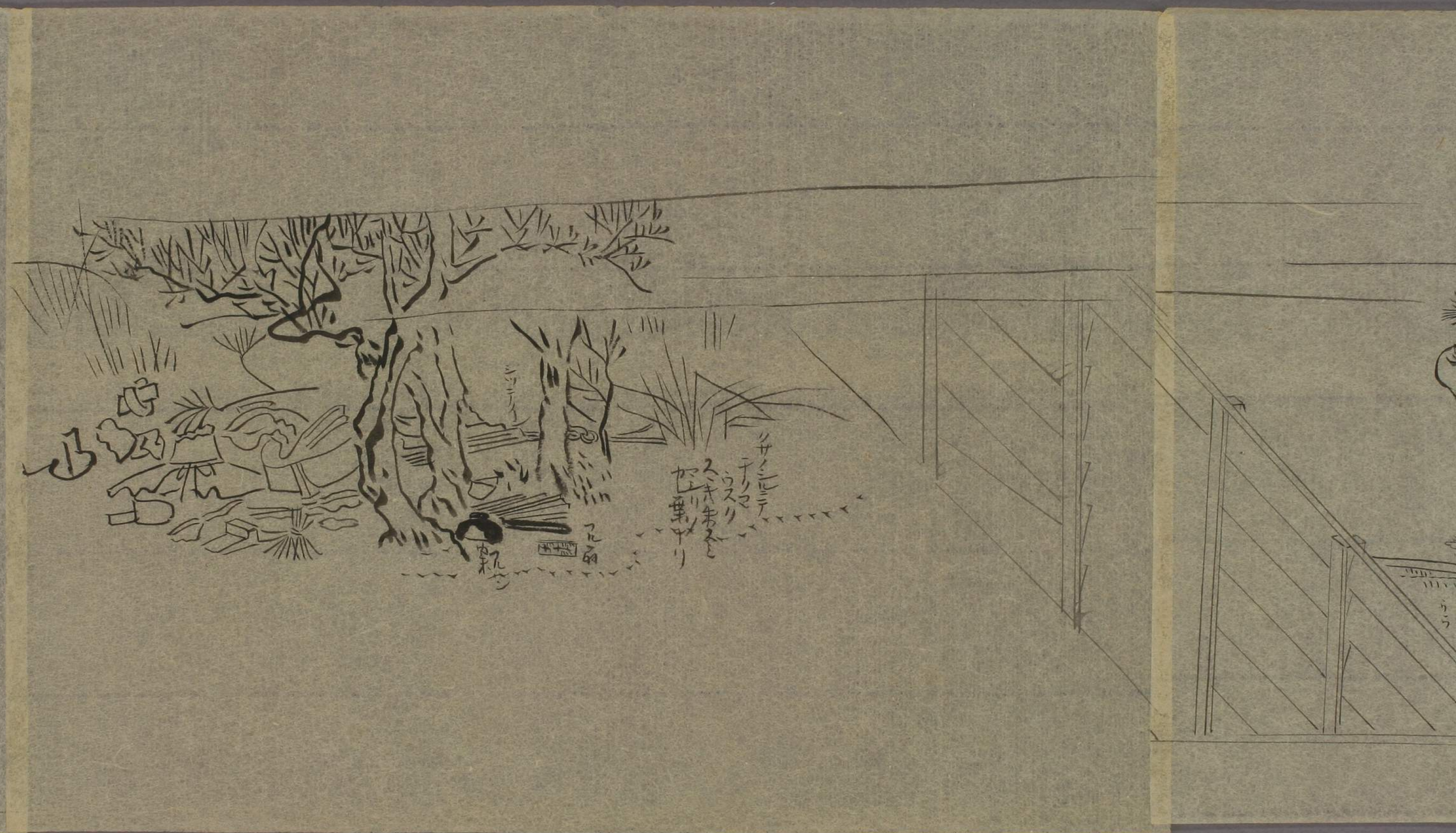
陰陽雜記云器物百年ゝ経て化して精靈を得てより
人乃公と謂はるゝと分喪神
世俗毎年立春前さきたちて是ふすりこの
人家の門戸を拂ひて
路次よりたてる事侍りあまた張
煤掃いとゝれ分百年ゝ一
あはしたりと又あるゝ
わ揚柳の火をきり若水とむ

陰陽雜記云器物百年経
て化して精靈を得てより
人乃心と通ずれば人喪神
ゆゑ号ずいあり是ふすりうの
世俗毎年立春前さきたて
人家の門戸に掛いて
路次まで行事あり張
燈掛いれ分百年了一
年たれば付喪神乃災難
あはしなり又あるべきなり
わ楊柳の火ときり若水とむと
し衣裝家具等ふるまて
みれ新しく聲華なる事た
ゆ富貴乃家におこるはうれ
ありなるべきなれ
付喪神とは古みし新と貴
ゆゑりゆゑいもんもあて
なるべし


コンスヒ
テコヲトリ
カラ井尚主スヘ
ゆんス。


ウラ

爰ニ康保乃ころ件の牒
拂ひて清中納言藤原の主家より
とりいだして授けたる具足も
一所に寄合て評定ありしに
さてし秋元家の家具と
ありて其忠節とたゝへ
まつるよしの記録に見賞せらるゝ
免状の跡頂戴授けとゝきて牛馬乃
帰り来る事根本中乃儀
あるまゝ許さるゝ所いろ〳〵の
授物とゝなりて名あると雖ども清
水儀定のゆゑ秋元
ゆゑ一連なり出る中りに
おのゝくのゝ
同果あてゝ所領ゝ
唯あゝとハ見ず
といひられ中こゝ
乃芳太郎
推来なる
拙して人ハ
こゝる見
ち作くゝて

乃茅太郎と
推察なる
拙して人
こゝる見し
ち作くして
中之の
そあ
より
こゝ
元りを
にこ
るか
もと
古文先
生死
て人類
てゝれ
の祠天地の
りかす
利家
りあ
変して
昔物撰
とする
こゝて

の神天地の物をうりかへて利益を天地造化工
夫あるべきを変じて性を盡を得ん
昔竹撰ものいひ廣氏為事
とかるゝ芸あるべく造化の変を
ゝもて神殖の化をいとを
ゝあるべきをとゝ
変の芸分をお待ゝ
造化の変化して物
ゝ利益をこのゝめ時
芸也ゝ等ゝ時分を変
ゝて造化のまゝに
ゝゝ妖物とゝ
変りもゝ命文
ゝゝ神のたゝに
ゝゝゝ

[illegible]

一連（とうれん）と云ふ心ちは申るこの
うへのもつて無念なる也
をたちうつて無念乃樹
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

てしとたて藏
くそえんなん

てしとたく蔵
くさえんかん
みちゆきの
筆墨乃はし
ゆ先ゆのち
なるをは

まてふ事をもるまき
かゝ古文先人をれやあ乃を
くゑ事を書毎ゆ
て法巳申ゆ裏ゆ乃るこの

来てふ、さ悪しきもるまを
ゆ、古文先人まれゆゑ乃を
くゑさ文を言を無ふ
て造化神乃懷ふ乃この
きを示てたるを経まれ
切
切あを生うまに又言化
乃徳を不るふうふこと
変合して忽ち妊おと
なる武を男女者ふ乃ま
この大城現し武を魅魅
悪鬼乃相ふ言武
ハ狐狸等ニ子ゆ形をあ
ま乃ゆろ〳〵招〳〵の
あをを海ゆ我ろまを
中〳〵申も乃ま利ふ

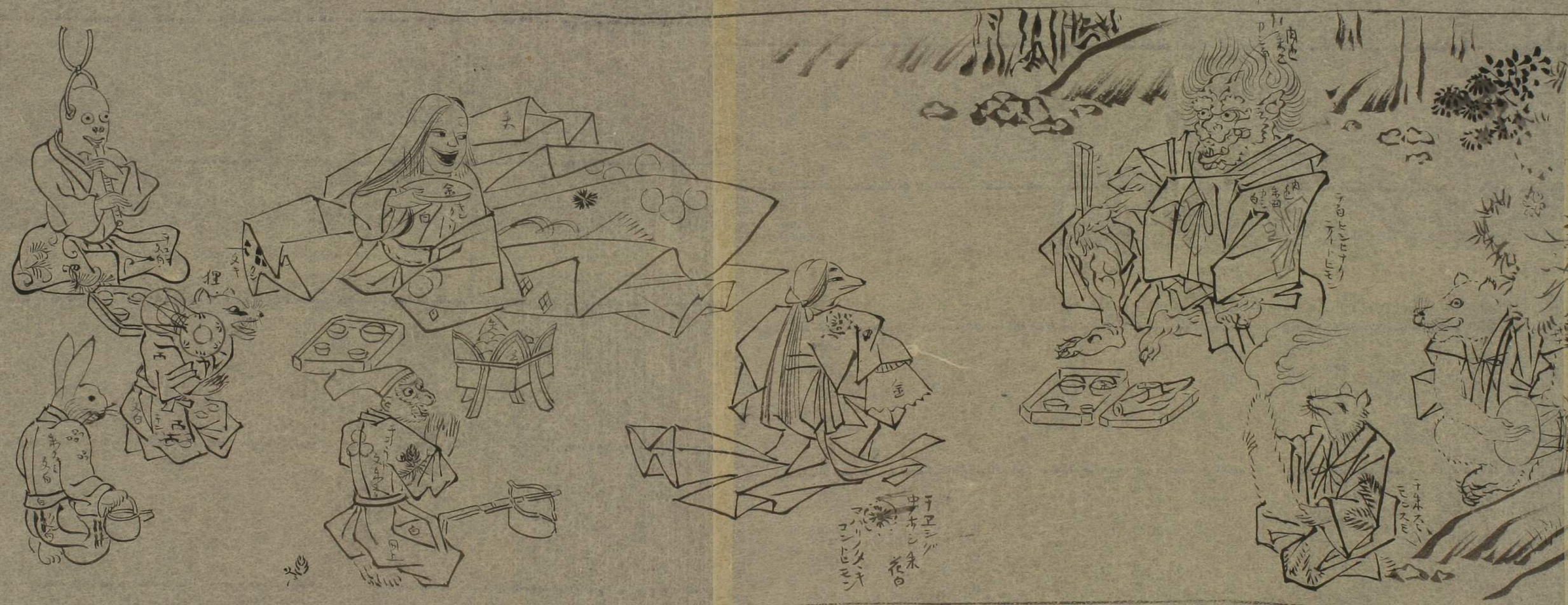
あつまさらは古様ハ
中〻申も
なるものなり

狼

妖物とも化物とも一所を
定めがたき所あるに人
里ちかくくらす食物
乃者ちかきあるべきや
高雄山乃高僧長
坂乃真如と定ちかく思
こと居られたる京
白河へいて捕られ
さても拙し又食
物れしめふ光人職男女
申代乃ちかく年馬六畜
ものも取乃もしの人れ
ちかもしかるもの
されも光よ又女性
乃もの面ハ對治する
ふ計をしくして
仏神乃るを所取る
妖物とも肉体をつき
無ふ作みをさつて

こと屋敷に居られ京
伝河へいて捨られあ
さをも拾ひ又ハ合
物れるめふ光人職男女性
申候ハ次年馬六番
ものも百ものもの人れ
るもむもあるもの
されも光よ又女性
乃もの面ハ對治する
ふ計をくしてひとに
仏神乃を所取る
妖物も肉体をつき
無ふ所みを
さのを逐殺
使人乃乃面
う天上乃快楽あ屋宅
羅座ものもうもやを
ア中ら

ナガメ
ツンクモ
スヒノ上ニ
ハウて
ナガメ
アロトルヒ
ムロ
ナホ大ヒ
モロ人モ

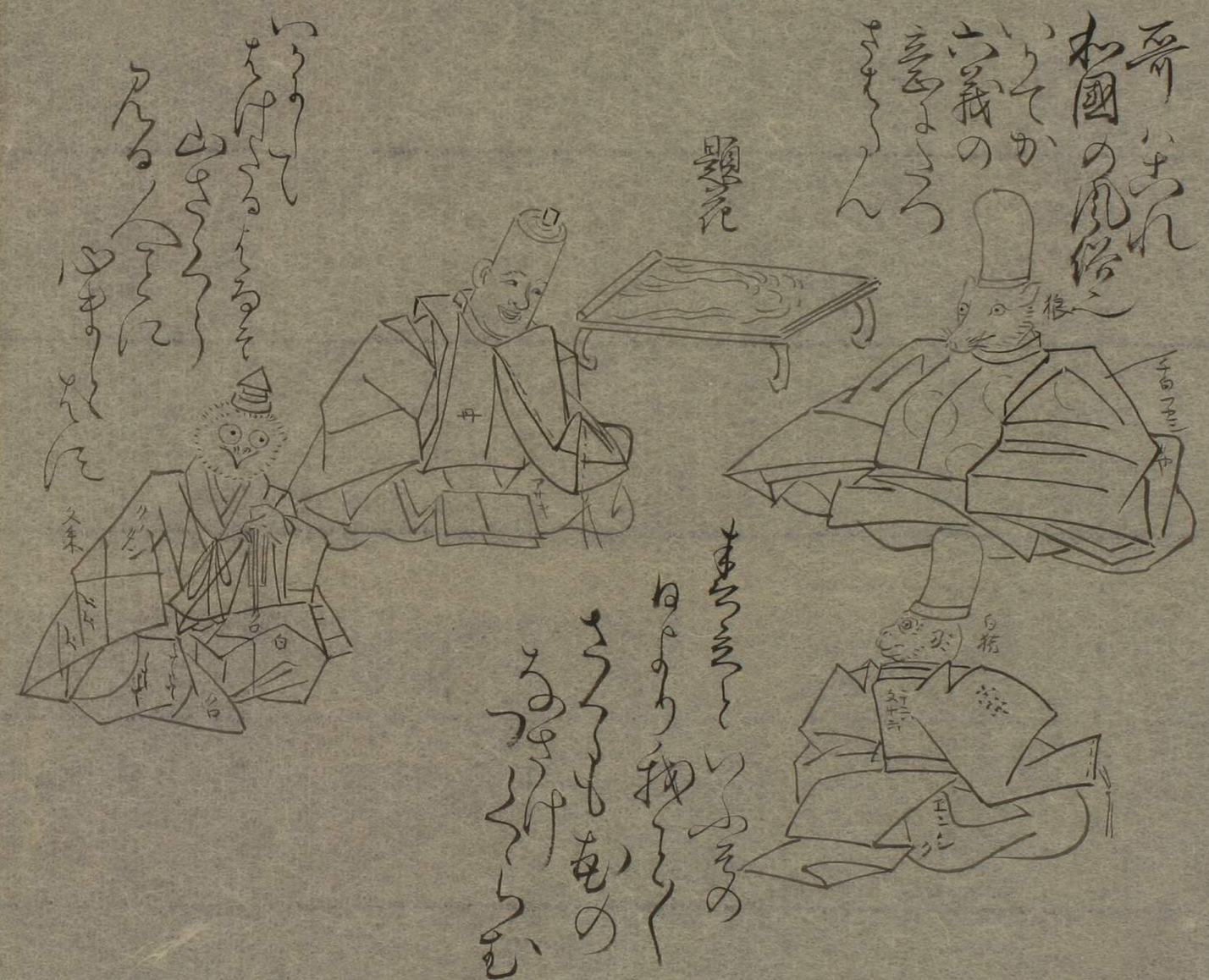


詩はなをかすめとゝ[illegible]の[illegible]

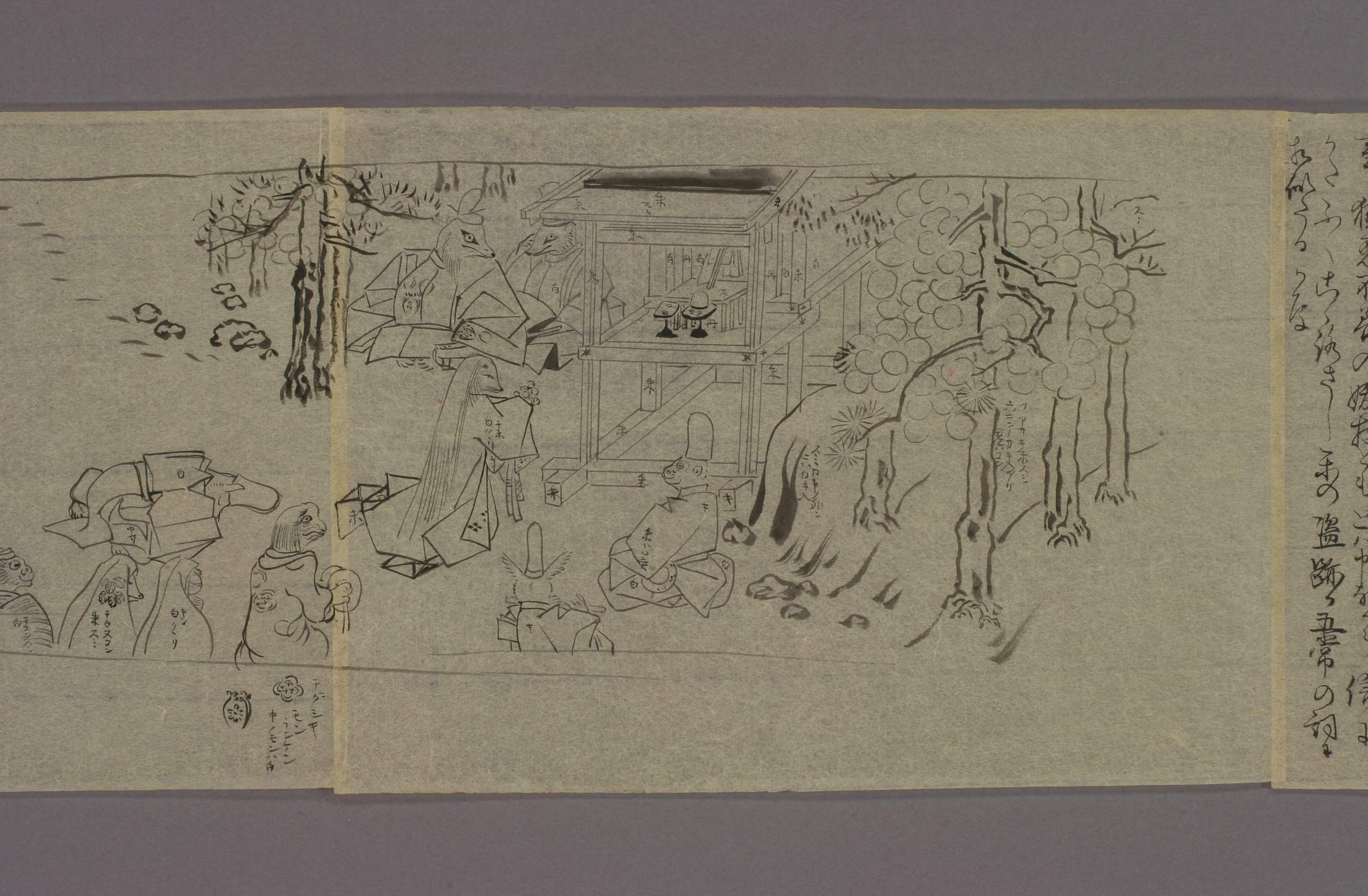
吾變明皇桜樂来
花驚渭鼓一時開
今宵共奏春光好
永使茲身不化埃

題同

珠簾影動落花春
胡蝶成堪悩美人
須傾嫉似如一夢
須傾鸚鵡酒霑脣



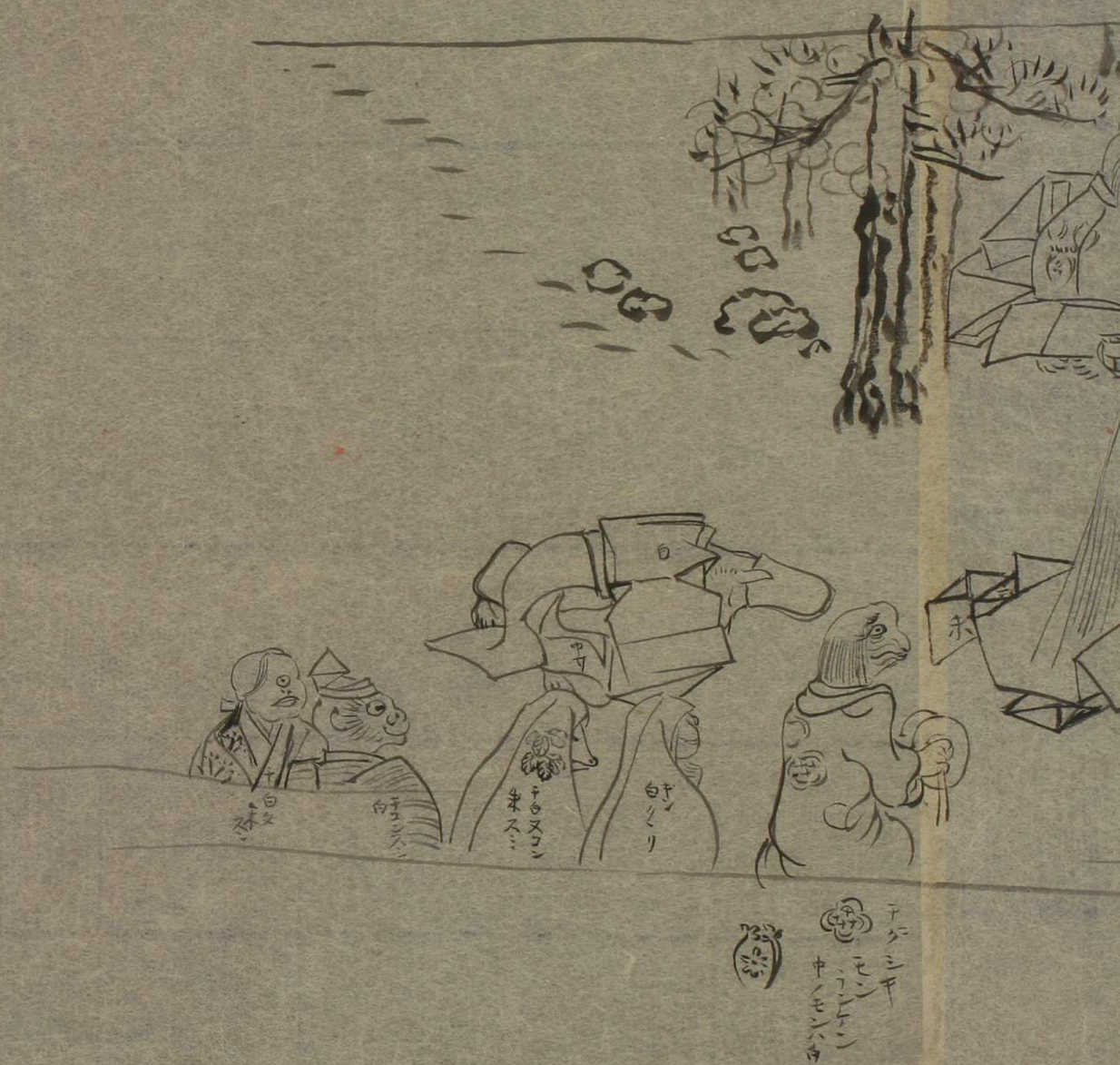
式と記婦物の中に申さ待せと吏我朝は本国
神國にて人を以て神道を信じ我朝の服
造化神よりうきを形ち皮の袖をあらためず
事ひとつもきは本石のごとくにて今よりして神を
民神と言ふにて生禮奠をいふ所運命久
しく保て子孫無窮せん事 ああいあし
とて屬にて世の人の異よ往儒を立て其の名を
変化大明神と号し毎年より立烏帽子乃
祭文の知る神主として山路の八乙女拍子の類
男なて さるめ毎て 朝よ 形夕よ
事 猛悪不吉の婦物ども中あり 信よ
ふ〜ふ〜ふ〜ふ〜 あの盗跡五常の初


ナンシキ
モン
ウンケン
中ノモンハ白
ギン
白ノくり
チヨヌコン
朱スミ
キヨウスミ
白
スミハカキノ少シ
ニハカキ入
フアカキホスミ
ニシニハカキ入アリ
黒ロコ

[illegible]の盗跡、尋常の初

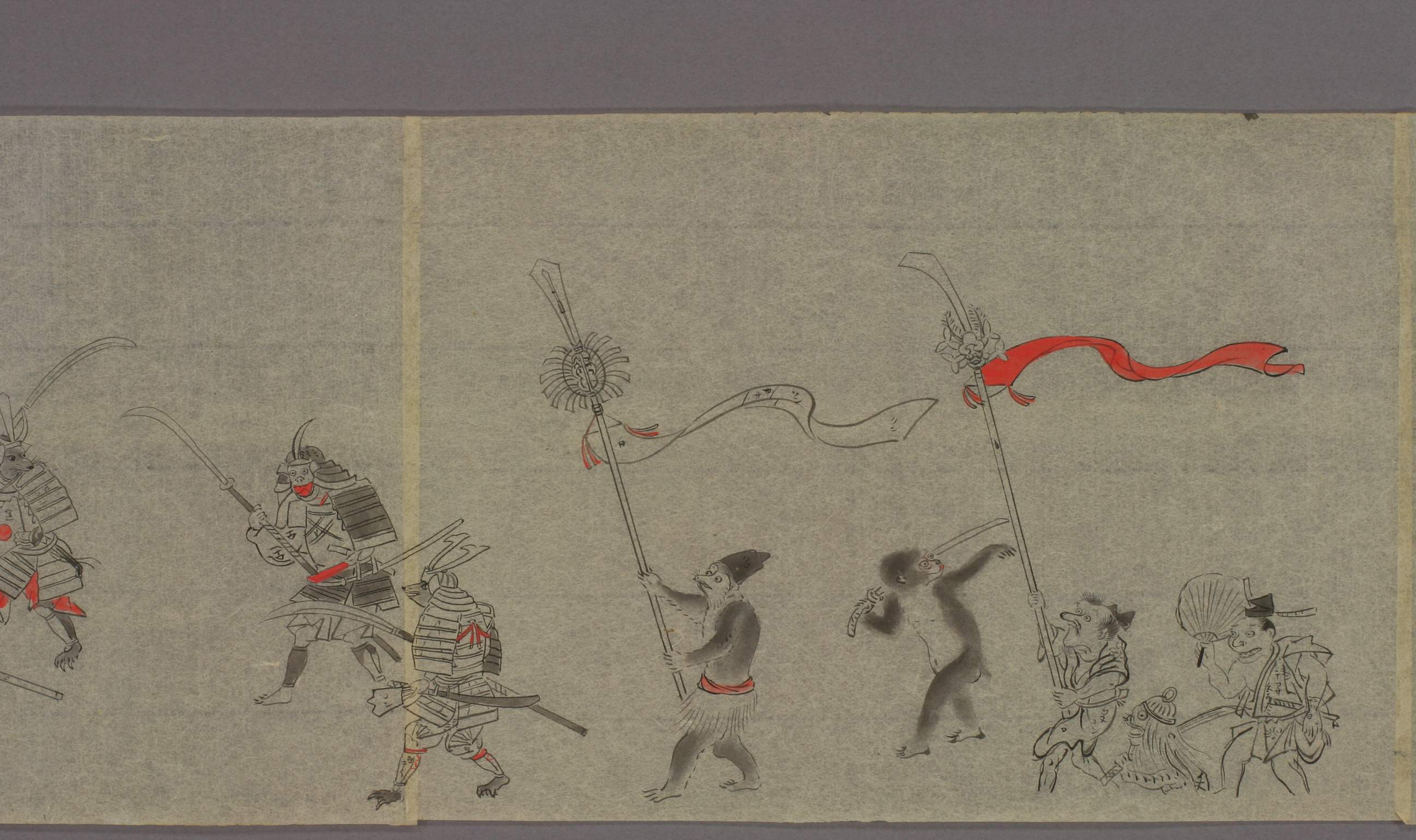
例小洲之祭

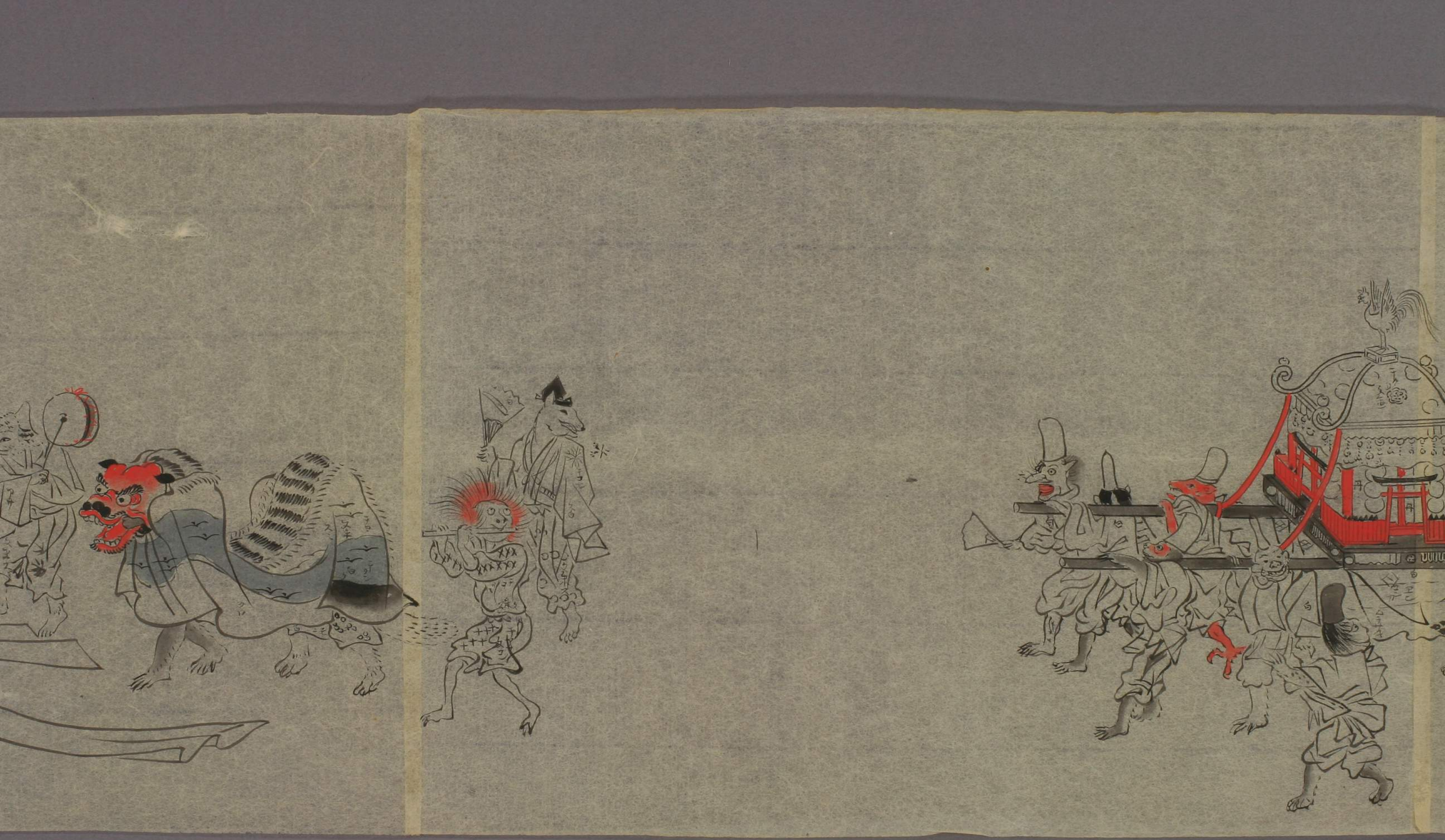
儀社乃法

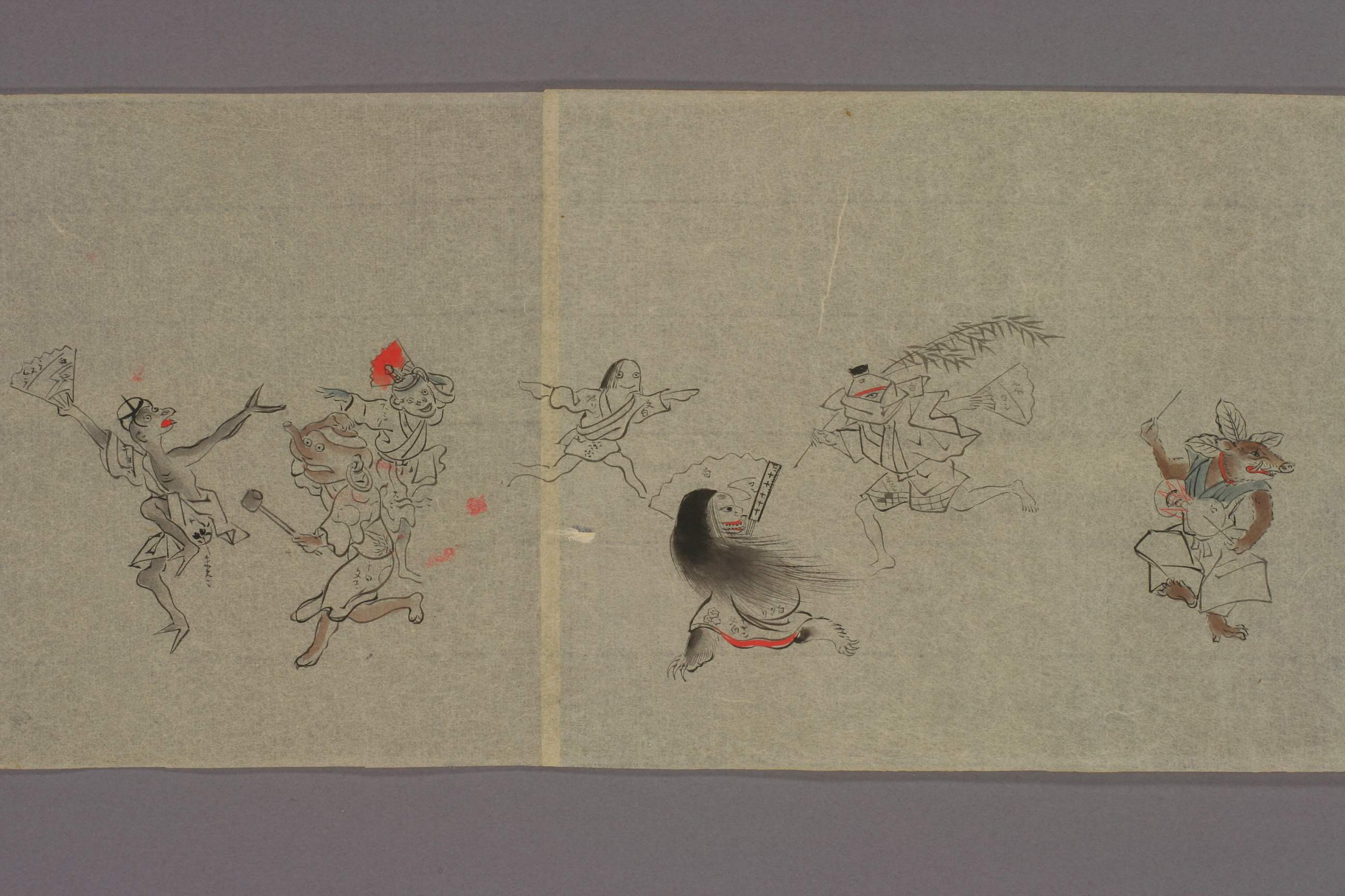


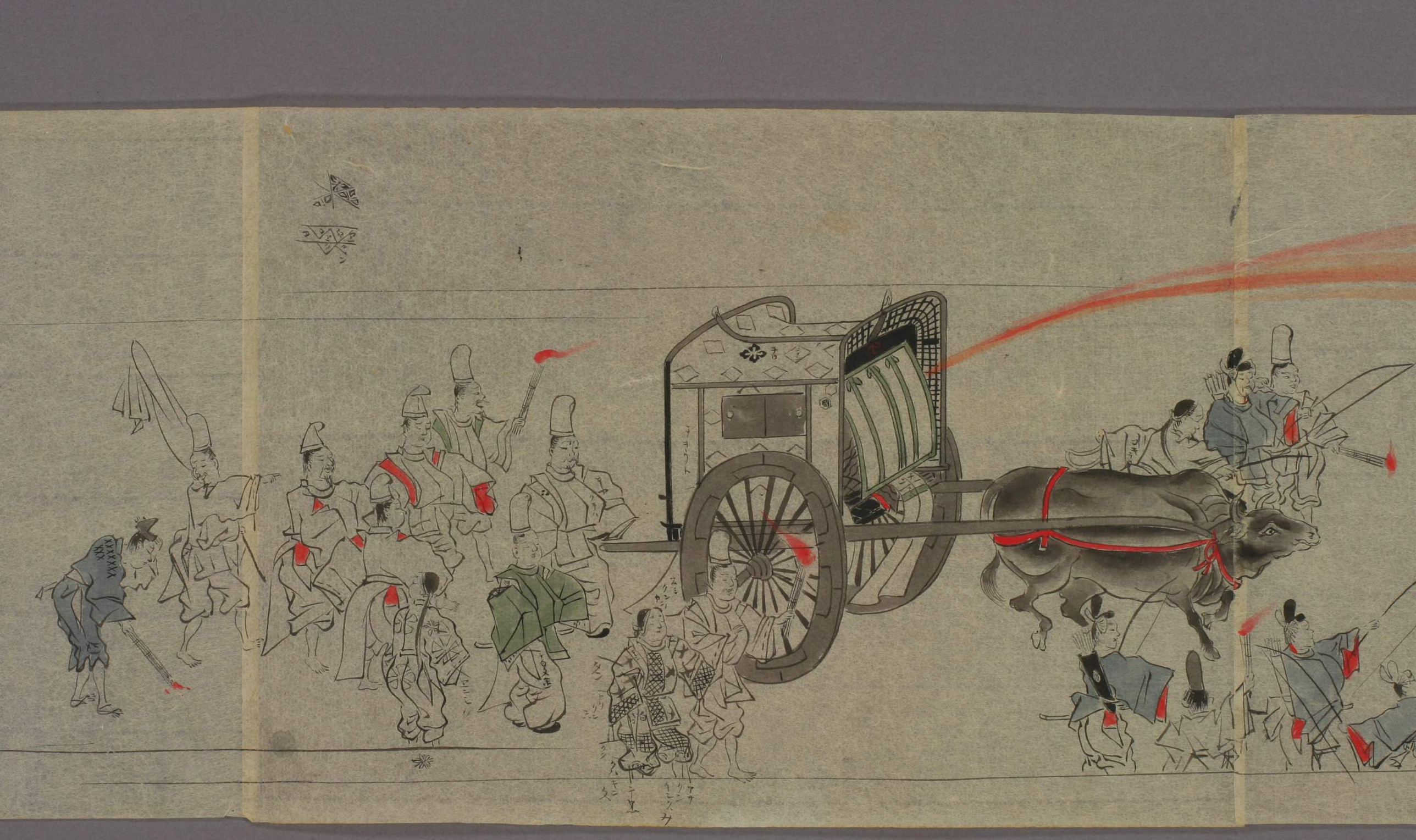
修社乃法例に準ずる
礼をこゝろふかくし
て送ることゝなりたる
如月乃末つかた
文ふをよろこぶ一條を以て
ことゝゆきなる山を
り拝をうけさるの
風流美を尽し長屋
晴し年内厳下御時ん
除月をこゝろ乃為一條
をふ(より)達有門より御系
内ある刑ふ件乃系礼
あねうり前駆乃事るを
ふ為ふ(より)ふ供
奉乃人皆地ゝ
ゝされゝも厳下ゝ
ゝも内ゝ
御車乃うちゝ他生
ゝ乃をたゝと興
ゝ乃ゝ
ゝ乃不思議乃
ゝ乃御守ゝ
火炎をつゝそ乃火炎

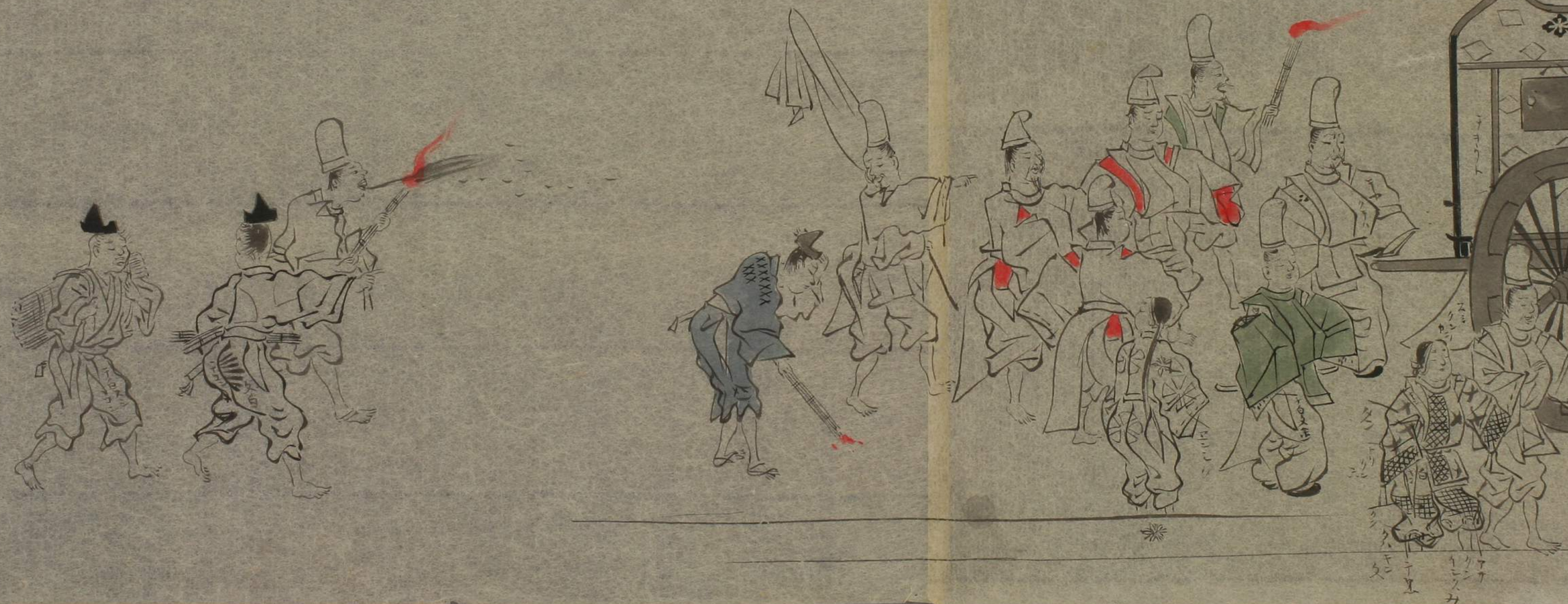
御車乃うちたる刑化生乃
をとをたゝくと聞と作
為に不思議乃ものハ
たゝり乃御守たり勿論
火炎をいつゝきそ乃火炎
無量化火封ゝれ玉ゝ化
生乃去ル所ゝ義化生乃
乃まろ〻ハ侍ゝ乃きを
乃刑











嘉永元戊申歲初冬於京師
金門画史繪而摹之
宇純

付裘神繪詞

宮内庁書陵部
1583